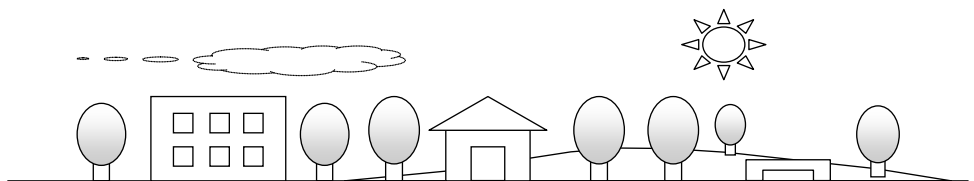


VII. 近隣センターで展開する市の施策



■ 「近隣センターの活性化、再生」に向けて

Ⅵ章の施策の方向性と共に、「近隣センターの活性化、再生」に向けて、市の施策を推進する。

※ 所管課は、平成 24 年 4 月現在とする。

「商業系機能」のにぎわいの創出

●近隣センターリレー産直市：地域経済振興室

8 近隣センターが連携し、大阪産（おおさかもん）、友好交流都市等の産物等のリレー産直市を開催し、近隣センター同士、近隣センターと市民の一体感の醸成を図り、活性化、にぎわいの創出、集客向上を図る。

●商店街等における空き店舗活用事業：地域経済振興室

近隣センター等が実施する「空き店舗を借り上げ共同施設」や「チャレンジショップ等」として活用する事業に対して、その経費の一部を補助する。

「子育て支援機能」の充実

●親子の交流や世代間交流の場の設定：子育て支援室

子育て・子育てにおいて、人と人とのつながりが大切なプロセスであることから、近隣センターにおいて、乳幼児と保護者が日常生活の中で、自然に集え、高齢者との交流ができる場を設定し、地域住民とのコミュニティの構築を図る。

●私立保育所整備助成事業：保育課

待機児童の多い地域において、保育所を創設する意思のある社会福祉法人に対して補助金を助成し、保育所整備を容易にし、待機児童の解消を図る。

「福祉、介護系機能」の充実

●地域密着型サービス等の誘致：高齢政策課

グループホーム*や小規模多機能等の誘致を図る。整備に対し補助制度を活用する。

●障がい児の放課後等の支援対策のための場の整備：障がい福祉室

障がい児の放課後及び長期休業時の支援としての見守りの場や居場所を確保する。

●障がい者の日中活動の場の整備（障がい福祉サービス事業所）：障がい福祉室

障がい者の日中活動の場を整備する。

●障がい者のケアホーム、グループホーム：障がい福祉室

ケアホーム・グループホーム*を整備する。

* 病气や障がいなどで生活に困難な人が専門スタッフ等の援助を受け、一般住宅で生活する社会的介護の形態のこと

「コミュニティ活動系機能」の空間の形成

●地区市民ホールの整備：地域総務室

地区市民ホールについては、市有建築物保全システムを活用しながら維持補修等を行う。また、近隣センターにおける再開発の計画があれば、同時に改築等を検討する。

「オープンスペース」の活用

●車（自家用車）に依存しないくらしの検討：環境政策室

市民がなるべく自家用車を使わずに近隣センターを利用することができるような方策を企画立案する。近隣センターにおいて試行的に取り組む。

「時代のニーズや社会の変化に合った施設構成とする仕組み」「オープンスペース」の建物用途などの誘導

●千里ニュータウン地区地区計画：都市整備室

地区計画により、近隣商業地区にふさわしい建物の用途、形態及び環境への配慮を誘導する。

すべての機能・仕組みの協働のまちづくりを誘致

●千里ニュータウンまちづくり指針、住区再生プラン（案）：千里再生室

建物等の高さや空間のあり方、周辺環境との調和を図ることを目標に、技術的なことがらを誘導する。また、協働のまちづくりを誘致し、ラウンドテーブル（円卓会議）等で支援する。

●地域の絆サポートスペースの誘導：千里再生室

近隣センターを新たに建替える事業者の努力義務として、低家賃（運営費程度）の店舗床（200㎡程度）の確保を誘導する。

対象は、「コミュニティ活動」「子育て支援」「障がい福祉」を行う地域事業者、NPO団体等とする。

近隣センターで展開する市の施策の一覧表

施策の系統	施策名	現状と課題	施策の概要	実施状況	上位計画等	緊急性・優先性	近隣センターで実施する必要性	備考	所管課 <small>(所管課は H24.4 時点とする。)</small>
商業活性化	近隣センターリレー産直市 (市商店街魅力向上促進事業補助金)	空き店舗の増加や、モータリゼーション社会による近隣センター離れ、昨今の経済的不況などにより、商業機能が衰退しており、活性化が課題である。 また、各近隣センターの連携や情報共有をいかに図るかが今後の課題である。	8近隣センターが連携し、大阪産(おおさかもん)、友好交流都市等の産物等のリレー産直市を開催し、近隣センター同士、近隣センターと市民の一体感の醸成を図り、活性化、にぎわいの創出、集客向上を図る。 昨年度から実施(上記の近隣センターの取り組みに補助金を交付する)	実施中	第3次総合計画p191		近隣センターは、徒歩圏における日常の買物の場であるため		地域経済振興室
	商店街等における空き店舗活用事業 (市商店街魅力向上促進事業補助金)	空き店舗が増加していることから、近隣センターの組織の弱体化や商業機能の低下による利用客離れを招いており、各近隣センターが空き店舗を解消する取組みが課題である。	近隣センターが実施する「空き店舗を借り上げ共同施設」や「チャレンジショップ等」として活用する事業に対して、その経費の一部を補助する。	実施中	第3次総合計画p191		空き店舗を無くすことで、近隣センター内の商業施設の活性化につながり、強いてはセンター全体の再生になる。		
子育て支援	親子の交流や世代間交流の場の設定	少子化、核家族化の進行や近隣関係の希薄化により、保護者の子育てへの不安感が増大していると共に、ニュータウン地域においては、高齢化が進み、世代間格差の解消も課題である。	子育て・子育てにおいて、人と人とのつながりが大切なプロセスであることから、近隣センターにおいて、乳幼児と保護者が日常生活の中で、自然に集え、高齢者との交流ができる場を設定し、地域住民とのコミュニティの構築を図る必要がある。	検討中	第3次総合計画p191		近隣センターは日常生活の場であり、親子に集まりやすい立地にあるため	・市所有の空床があれば活用したい。 ・高齢者から乳幼児までの市民が気軽に利用できる世代交流の場として、民間団体が「ふれあい交流サロン」を運営する。 (高齢いきがい課)	子育て支援室
	私立保育所整備助成事業	子育て支援の施策名称「私立保育所整備助成事業」の現状課題について、市の待機児童数は44名となっており(H23.4.1現在)、待機児童の解消が緊急の課題である。	待機児童の多い地域において、保育所を創設する意思のある社会福祉法人に対して補助金を助成し、保育所整備を容易にし、待機児童の解消を図る。	実施中	次世代育成支援行動計画(後期計画)p69	高野台に整備されたことにより、後期計画内(H26年度まで)は不要である。	市民が利用しやすい立地が望まれるため	認可外保育園については、保育所に対応できない小回りの利くサービスを行っており、需要はあるが、市としては関わっていない。	保育課
高齢者福祉	地域密着型サービス等の誘致	吹田市で最も高齢化率が高い地域であるものの、用地確保が困難なため、これまで介護保険サービス提供基盤の整備が進んでいない地域(特に、千里NT北部)となっており、地域密着型サービス等の整備が課題である。	グループホームや小規模多機能等の誘致を図る。整備に対し補助制度を活用する。	実施中・今後必要な施策	第4期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画p120	整備目標量が定められている。	他に適地が見出せない。	整備に対して補助金がある。	高齢政策課
障がい福祉	障がい児の放課後等の支援対策のための場の整備	小学校4年生以降の障がい児の放課後及び長期休業時の支援について、障がい児の団体等から強い要望があり、その対策が求められている。	小学校4年生以降の障がい児の放課後及び長期休業時の支援としての見守りの場や、保護者の就労支援として高校生までの居場所を確保する。また、障がい児者に活動の場を提供し、保護者の就労支援や一時的な休息を確保する日中一時支援事業を実施する。	実施中・今後必要な施策	第3次総合計画p191、第3期障がい者計画p46、第2期障がい福祉計画p46	関連団体等から強い要望がある。支援の必要な障がい者が増加している中、障がい福祉施設が市南部に偏っていることから、至急に市北部での施設整備の必要がある。	福祉・交流の場として、日常生活が身近に感じられる近隣センターにおいて、地域の方々と相互に交流することで障がい児者が地域において自立した生活ができる。	採算性の問題から、市所有の空床等低家賃で利用できる空床の確保が必要	障がい福祉室
	障がい者の日中活動の場の整備 (障がい福祉サービス事業所)	市北部に、障がい者の日中活動の場である障がい福祉サービス事業所が、ほとんど無いため、その整備が求められている。	障がい者の日中活動の場を整備する。	実施中・今後必要な施策	第3次総合計画p191、第3期障がい者計画p50、58、第2期障がい福祉計画p39～p40				
	障がい者のケアホーム、グループホーム	市北部で、病院や入所施設から地域移行の受け皿としての住まいの場である障がい者のケアホーム、グループホームが求められている。	ケアホーム・グループホームを整備する。	実施中・今後必要な施策	第3次総合計画p191、第3期障がい者計画p58、59、第2期障がい福祉計画p41				
コミュニティ	桃山台市民ホール改修工事	利用者の高齢化が進む中、現市民ホールがバリアフリー等の問題を抱えており、地域の集会所としてニーズに合わなくなっている。地域住民の市民ホール改修要望を受け、改修工事に向け、耐震診断を行った結果、耐震補強工事が必要との判定を受けた。そのため、今年度より耐震補強工事を含む市民ホール改修工事を進める。	耐震補強工事、エレベータ設置工事、駐車場の設置、その他改修工事を行う。	実施中(設計)	第3次総合計画p191	地域住民から改修要望を受けている。 今年度設計中	今後も地域住民の集会所として必要である。		地域総務室
	青山台、古江台市民ホール施設狭隘解消	他の市民ホールに比べ狭隘であるものについて、拡張ができればよいが、財政上の理由により困難である。	他の市民ホールに比べ狭隘であるため、再開発の計画があれば、同時に改築等を検討する。	再開発などあれば同時に実施		財政上の理由から困難であるため、再開発などあれば同時に実施する。	今後も地域住民の集会所として必要である。		
環境	車(自家用車)に依存しない暮らしの検討	運輸部門CO2削減のため、車依存生活からの脱却を目指し、自転車利用や歩いて暮らせるまちづくりを推進する必要がある。	市民がなるべく自家用車を使わずに近隣センターを利用することができるような方策を企画立案する。近隣センターにおいて試行的に取り組む。	今後必要な施策	第2次環境基本計画p50	環境基本計画の重点プロジェクトに位置づけられている。	重点プロジェクト実施時期と重なるため		環境政策室
市街地整備	千里ニュータウン地区地区計画	計画的に整備された市街地であり、開発当初の理念を継承する必要がある。周辺の住環境との調査に配慮しつつ適正な利用を図る必要がある。	地区計画により、近隣商業地区にふさわしい建物の用途、形態及び環境への配慮を誘導する。	実施中	千里ニュータウン地区地区計画		開発当初に計画された地域特性を勘案し、これを継承するため		都市整備室
まちづくり	千里ニュータウンまちづくり指針	身近な生活関連施設がある近隣センターと住宅地エリアは、土地利用の純化が図られており、今後、進められる建替え等に対して、豊かな緑と、ゆとりある良好な住環境を継承していく必要がある。	建物等の高さや空間のあり方、周辺環境との調和を図ることを目標に、技術的なことがらを誘導する。また、協働のまちづくりを誘致し、ラウンドテーブル等で支援する。	実施中	千里ニュータウン再生ビジョン		良好な住環境をつくるため		千里再生室
	地域の絆サポートスペースの誘導	「コミュニティ活動」「子育て支援」「障がい福祉」等の場の設置については、近隣センターには、市が所有する空床がなく、賃貸料等の採算性の問題から設置が困難な状況である。今後は、地域事業者やNPO団体等が、近隣センター内に誘致しやすい仕組みづくりが必要がある。	近隣センターを新たに建替える事業者の努力義務として、低家賃(運営費程度)の店舗床(200㎡程度)の確保を誘導する。対象は、「コミュニティ活動」「子育て支援」「障がい福祉」を行なう地域事業者、NPO団体等とする。	今後必要な施策			地域事業者やNPO団体等が行なう「コミュニティ活動」「子育て支援」「障がい福祉」等の場を、地域拠点である近隣センターに誘致しやすくするため	・「子育て広場」としての補助制度はある。 ・「障がい福祉」は自立支援法等による報酬等がある。	

1年毎に
進行管理

参考資料

近隣センター再整備スケジュールの一例

内 容	年	1年目												2年目																				
	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
地権者等との調整				●合意																														
設計					企画、基本、実施設計																													
官公庁協議申請等							各種開発協議																											
工事																		建築確認審査																
テナントとの調整				テナント誘致・条件確認→予約契						本契約締結作業									開業作業															
管理運営関連								営業・販促計画策定									運営体制構築、運営計画策定																	
																	施設管理計画																	

開業

※ 上記一例は、1～2階建て程度の商業系施設で、合意形成後のケースを想定したものであり、あくまで参考レベルのものである。

千里ニュータウン近隣センターのあり方について（案）

平成 24 年（2012 年）3 月

発行：吹田市都市整備部千里再生室

〒565-8550 吹田市泉町 1 丁目 3 番 40 号

TEL：06-6384-1231

e-mail：senrisaisei@city.suita.osaka.jp

